

博物館講座

春と冬の天体写真撮影会

天体写真をくっきりと撮るために、星の動きに合わせて動く赤道儀を使った撮影会を開催します。星の光はとても微量なので開放(バルブ)を使えるデジタルカメラを使って、約30秒から1分かけてじっくりと撮影し、実際にプリントしてみます。カメラは博物館で用意しますが、開放を使えるカメラがあればお持ちください。赤道儀を使って、季節の星座やオリオン大星雲の詳細な姿をカメラで捉えてみましょう。▶日時：3月29日(金)20:00～21:30 ※悪天候の場合は、30日(土)か31日(日)に変更▶場所：博物館前庭▶定員：10名(要申込・先着順)▶参加費：無料▶持ち物：防寒具(あればカメラ)▶講師：合地信生学芸員



カメラをとりつけた赤道儀

ロビー展

道東地区博物館巡回展

カメラは見た！動物たちの素顔

道東各地の博物館学芸員や地域住民が撮影した野生動物のイチオシ写真展です。普段見なれた動物たちを「ちょっと変わった角度」からとらえました。一瞬の気を抜いた時の表情や地域ならではの動物たちの風景など、普段とは違う動物たちの素顔をお楽しみください。※本

内容は美幌博物館特別展の内容を巡回展として再構成したものとなっています。▶会期：3月31日(日)まで▶場所：交流記念館ロビー※ロビー展のみの観覧は無料です。

博物館講座

スノーシューで歩く森の観察会

知床博物館周辺の森では、様々な野鳥や砂丘ならではの木々を観察できます。また、雪の上には動物たちの痕跡が残り、竪穴住居跡やアイヌ時代のチャシ跡などの遺跡もあります。夏には歩きにくい森も、雪の上ならスノーシューで快適に歩けます。身近だけど見どころ沢山、春の森を散策してみましょう。▶日時：3月30日(土)9:00～12:00▶場所：博物館周辺(博物館集合)▶定員：15名(要申込・先着順・小学3年生以下は保護者同伴)▶参加費：保険料200円(協力会員は無料)▶講師：白井平・村田良介学芸員▶持ち物：寒くない服装、おやつ、温かい飲み物(スノーシューは博物館で用意します)



収蔵資料展示

電話番号標示板「61」

町内のある建物で掲示されていた、電話番号標示板を展示します。斜里に電話がはじめて通じた1920(大正9)年には、町内81か所で電話が使われ、それぞれに固有の番号がありま



した。この「61」の電話番号標示板は、1968(昭和43)年まで変わらず使われ続けました。どこで使っていたかは、博物館でぜひお確かめください。▶会期：3月6日(水)～3月31日(日)▶場所：本館受付前※この展示のみの観覧は無料です。※先月号でお知らせした「御殿飾りの雛人形」の会期を3月3日(日)までに変更します。

2024 会員バスツアーの報告



北の大地の水族館(山の水族館)にて

1月28日(日)に博物館協力会バスツアーを開催しました。山の水族館では山内館長に解説いただきながら淡水魚の極寒でのつましい暮らしぶりなどを観察、北網圏北見文化センターでは、プラネタリウムなどを鑑賞し、宇宙規模で地球を考える機会になりました。また、バス車内における学芸員による同業者目線での訪問先紹介や、おいしいお昼ご飯に楽しいおしゃべりも加わり、26名の会員にツアーを満喫していただきました。また来年度も魅力的なツアーを企画していきますので、奮ってご参加ください。

休館日

3月4日(月)、11日(月)、18日(月)、20日(水・祝)、25日(月)